



2021年2月12日

各 位

会 社 名 J ト ラ ス ト 株 式 会 社  
代表者の役職名 代表取締役社長 藤 澤 信 義  
(コード番号 8 5 0 8 )  
(上場取引所 東京証券取引所 市場第2部)  
問い合わせ先 執 行 役 員 常 陸 泰 司  
電 話 番 号 0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

### 当社関連会社（株式会社KeyHolder）の個別業績の 前期実績値との差異に関するお知らせ

当社の関連会社である株式会社KeyHolder（JASDAQ上場、証券コード：4712（以下「キーホルダー」といいます。））が本日公表いたしました2020年12月期通期決算における個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2020年12月期通期連結業績に与える影響につきましては、2021年2月15日公表予定の「2020年12月期決算短信」に織り込んで発表する予定であります。

#### 記

#### 1. 2020年12月期通期個別業績と前期実績値との差異（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A）	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2019年12月期	287	△473	△467	△237	△15.39
今回実績値（B）	295	△733	△747	45	2.76
増減額（B - A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—

（注）キーホルダーは、2019年12月期より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更しております。この変更に伴い、2019年12月期は決算期変更の経過期間となることから9か月決算となっております。このため、増減額、増減率につきましては記載しておりません。

#### 2. 差異の理由

売上高につきましては、前述の通り前期に比較して通常の決算期間であったことにより増加したものでありますが、保有不動産の賃貸収入が減少したことにより微増にとどまっております。また、利益面で減少した理由といたしましては、子会社貸付に対する引当の増加（△53百万円）に加え、販管費等の増加（△225百万円）によるものであります。

なお、当期純利益が前期に比較して大幅に改善している理由といたしましては、関係会社株式の売却益1,336百万円を計上したことや、投資有価証券等の評価損△537百万円を計上したことなどによるものであります。

以 上